

地方独立行政法人福岡市立病院機構中期目標（修正案）対照表

頁	項目	中期目標（案）【前回提出】	修正案
1	前文	<p>福岡市としては不採算医療等の政策的な医療の提供にかかる必要な経費はこれまでどおり市が負担することとしたうえで、市立病院機構が達成すべき目標をここに示し、市立病院機構として市が担うべき医療を安定的・継続的かつ効率的に提供していくことを求めるものである。</p> <p>市立病院機構においては、福岡市における医療施策として求められる高度専門医療、救急医療等を提供すること等により、市内の医療水準の向上を図り、もって市民の健康の維持及び増進に寄与することとした設立目的を踏まえ、地方独立行政法人の特長を最大限に生かしながら、医療の質の向上や患者サービスの充実を図るとともに経営の健全化に取り組むことを期待する。</p>	<p>福岡市としては不採算医療等の政策的な医療の提供にかかる必要な経費はこれまでどおり市が負担することとしたうえで、市立病院機構が達成すべき目標をここに示し、<u>医療制度改革や診療報酬改定など医療を取り巻く環境の変化に迅速かつ柔軟に対応しながら、市立病院機構として市が担うべき医療を安定的・継続的かつ効率的に提供していくことを求めるものである。</u></p> <p>市立病院機構においては、<u>本中期目標や本市における市政運営の基本方針である「福岡市 2011 グランドデザイン」の趣旨を踏まえ、地方独立行政法人の特長を最大限に生かしながら、医療の質の向上や患者サービスの充実を図るとともに経営の健全化に取り組み、福岡市における医療施策として求められる高度専門医療、救急医療等を提供すること等により、市内の医療水準の向上を図り、もって市民の健康の維持及び増進に寄与することを期待する。</u></p>

頁	項目		中期目標（案）【前回提出】	修正案
2	第2 住民に対して提供するサービスの他の業務の質の向上に関する事項	I 医療サービス	第一種・第二種感染症指定医療機関については、審議会の答申を踏まえ、指定返上について県等との協議を進めるとともに、指定返上までの間は、その役割を果たすこと。	第一種・第二種感染症指定医療機関については、 <u>審議会の答申を踏まえ、県へ指定返上を届け出ているが、代替の医療機関が確保されるまでの間は、その役割を果たすこと。</u>
2		II 医療の質の向上	1 診療体制の強化・充実 医療のさらなる高度化に対応し、より安全で質の高い医療を安定的・継続的に提供するため、必要に応じて診療科の再編やセンター化を行うなど、診療体制の強化・充実を図ること。	医療のさらなる高度化に対応し、より安全で質の高い医療を安定的・継続的に提供するため、必要に応じて診療科の再編やセンター化を行うとともに、 <u>各専門領域の医療スタッフが連携して診療に取り組むチーム医療体制の構築</u> など、診療体制の強化・充実を図ること。
3		2 病院スタッフの確保と教育・研修 ④ 事務職 診療報酬改定等の医療環境の変化や患者の動向等を迅速かつ的確に把握・分析し、効果的な経営戦略を企画・立案できる事務部門を構築すること。	<u>計画的にプロパー職員の採用及び育成を行い、診療報酬改定等の医療環境の変化や患者の動向等を迅速かつ的確に把握・分析し、効果的な経営戦略を企画・立案できる事務部門を構築すること。</u>	
4	第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項	1 運営組織 市立病院機構の運営を的確に行えるよう、理事会及び本部事務局などの組織体制を整備するとともに、市立病院機構内で適切な権限配分を行い、効果的・効率的な運営管理体制を構築すること。	市立病院機構の運営を的確に行えるよう、理事会及び本部事務局などの組織体制を整備するとともに、市立病院機構内で適切な権限配分を行い、 <u>各病院において病院長がリーダーシップを発揮し、効果的・効率的な経営が可能となる運営管理体制を構築すること。</u>	

頁		項目	中期目標（案）【前回提出】	修正案
4	第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項	2 収支改善 ② 費用削減	<p>予算科目及び年度間で弾力的に運用できる会計制度を活用した予算執行を行うことにより、効率的・効果的な事業運営に努めること。</p> <p>また、施設・設備を有効に活用するとともに、価格交渉の徹底や多様な契約手法の活用、委託業務の見直し等を行い、費用の削減を図ること。</p>	<p>予算科目及び年度間で弾力的に運用できる会計制度を活用した予算執行を行うことにより、効率的・効果的な事業運営に努めること。</p> <p>また、価格交渉の徹底や多様な契約手法の活用、委託業務の見直し等を行い、費用の削減を図ること。</p> <p><u>さらに、計画的な維持修理による施設の長寿命化と投資の平準化、施設運営・保守管理の効率化、既存施設の有効活用などの取り組み（アセットマネジメント）を推進すること。</u></p>